

たんぽぽぐみだより

第7号

令和元年11月29日

荒川区立東日暮里幼稚園

寒暖差が大きい日も増え、冬の訪れを感じる今日この頃ですが、子どもたちはそんなことおかまいなし！思い切り身体を動かして走ることを楽しんだり、様々なイメージを發揮しながら何かになりきって遊んだりすることを楽しんでいきます。

先日の保育参観では、普段の子どもたちの遊びや生き生きと身体を動かす姿などを見ていただきながら、子供たちの様子について学級で共有することができました。普段から園や学級運営にたくさんのご理解とご協力をいただきありがとうございます。

2学期も残すところ、約1カ月となりました。様々な行事を経験した2学期。その経験を振り返りながら、自分の成長を感じ、次の活動に繋げていくことができるように援助していきます。

徒歩遠足

自分たちの足で歩いて、荒川自然公園に遠足に行きました。事前の話の中で、これまでの安全指導の経験も振り返ったり、年中組になったからこそ行けることを話したりすると、楽しみな気持ちを持ちながらも、気持ちが引き締まったような表情をしていました。

遠足当日はお天気にも恵まれ、遠足日和となりました。荒川自然公園までは細い路地や車やバイクが通る道もたくさんありました。その都度、自分たちでどう歩いたら良いか声を掛けたり、自ら手をあげて横断歩道を渡る反達の姿を見たりしながら安全を意識して歩きました。約40分程かけて荒川自然公園に到着。お家の方と普段から遊びに来ている子どもも多かったようですが、自分たちの足で歩いてきたという充実感は格別。公園の入り口までの橋から荒川の街や橋の下を走る都電を見て、満足そうに手を振っていました。

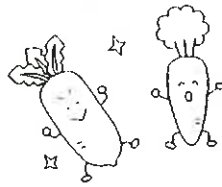
たくさん歩いて歩いて到着した後は、アスレチックのある広場で遊びました。疲れた様子などは一切なく、自分の挑戦したい遊具を見つけて挑んでいく子どもたち。ターザンロープでは「あ～あ～。」とターザンのようなセリフを言いながら遊んだり、しがみつかなければ登ることができない遊具で家族っこをしたりする姿などに思わず笑顔も溢れました。

アスレチック広場で遊んだ後は、どんぐり拾い！次々と見つかるどんぐりを拾っては、まるで宝物を見つけたかのようにキラキラとした顔で教師に「見てみて！」と教えてくれる姿が見られました。「なんか黒いどんぐりがあった…！」、「細かいどんぐりとふとっちょどんぐりがある！」、「振るとコロコロ音がするどんぐりは虫がいたって証拠なんだよ。」などと自分が感じたことや知っていることを言葉にしたり、伝え合ったりしながらどんぐり拾いを楽しみました。

どんぐり拾いの後は、交通園で自分が乗りやすい自転車を選んで遊びました。たんぽぽ組の子どもたちはほとんどが補助付きの自転車を選び遊びました。そんな中、補助なしの自転車でスイスイと駆け抜けていく年長児の姿を見て、手を振ったり自分も補助なしに挑戦していることを教えたりしてくれました。年長児の姿に憧れや刺激を受け、それが「自分もやってみたい！」という意欲に繋がっています。

一日をとおして、目一杯身体を動かして遊ぶことができた徒歩遠足。普段はなかなか歩いて荒川自然公園に向かうことは少ないのではないのでしょうか？自分の足で歩いていくことで、より安全を意識したり、自然の変化に目が向いたりします。そしてなにより体力向上につながりますね。是非、お子様と徒歩でのお散歩も楽しんでくださいね。





収穫祭



これまで年間をとおして、育ててきたお米や園での収穫物を使って、「たくさん採れたね！おめでとう！」の気持ちをもちながら、収穫祭を行いました。お米に関してはこれまでたくさんの活動を行ってきました。

お米ってどうやって育つのだろう…という話から始まり、**苗植え**→**収穫**→**稲こぎ**→**籾摺り**→**精米**と段階を踏みながら、お米の育っていく過程を学びました。

それぞれの活動の中では大変なこともたくさんありました。2学期に行った活動を1つずつ振り返ってみましょう。

収穫

大きな鎌を使って担任に後ろから支えられながら、稲を刈りました。鎌の取り扱い方について真剣に学び、普段なかなか触ることができない鎌にちょっとドキドキしながらも、刈れるたびに「やったー！」と嬉しそうでした。

稲こぎ、籾摺り、精米

年長児のペアの友達とお米の粒だけプチプチと外しました。手作業でお米の粒だけにするのは意外と大変。「機械ができる前はこんな風にしてお米農家さんはお米を作っていたんだね～」という教師の声を聞いて、「大変だったんだなあ～」という声が聞こえてきました。

籾摺りでは、野球ボールとすりばちを使って、同じく年長児のペアの友達に教えてもらいながら、お米と殻に分けました。ゴリゴリゴリ…と野球ボールとお米をすり鉢でこすっていくと、お米と殻に分かれる様子を不思議そうに見つめる子どもたちの姿が見られていました。息を優しく吹きかけると殻だけ飛んでいく様子とともに、教師が「どうして殻だけ飛んでいくのだと思う？」と問いかけると、年長児の子どもから「殻の方が軽いから！」と解答がありました。実際に自分たちで息を吹きかけ、お米と殻を分けることでそのことにも気づくことができました。

収穫祭前日にはみんなで収穫物を見あったり、精米をして収穫祭に期待をもつことができました。

それぞれの活動をとおして、「お米ってこんなに大変な思いをして作られているんだね。」と食べ物のおりがたさも学ぶことができました。

収穫祭

たくさんの経験を重ねながら、迎えた収穫祭。登園するなり、「お米パーティーだ！」と気合十分の子どもたち。「おにぎり作り頑張るぞー！」と教師が声を掛けると「おー！」とおにぎり作りに向かいました。しゃもじを使って自分でお米をすくい、ラップとコップを使っておにぎりをつくりました。たくさんのおにぎりを作り、幼稚園で育てた野菜を使ったお味噌汁や、稲を幼稚園にくださった板橋さんお手製の美味しいつけものとともに、収穫の喜びを味わいながら美味しくいただきました。

たんぼぼ組では現在、白菜、かぶ、小松菜、そらまめも育成中です。子どもたちが植物の生長に興味をもったり、食べ物に感謝しながら食事をしたりすることができるように引き続き援助していきます♪

